

## 第1回 原田小学校跡地利活用検討委員会

日 時	令和7年9月8日（月）午後7時00分～午後9時00分
場 所	原田地域生涯学習センター

### ■議事概要

#### 1. 開会

事 務 局 : 本日は御多忙のところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、只今から第1回原田小学校跡地利活用検討委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

#### 2. 挨拶

事 務 局 : それでは次第にそって説明させていただきます。  
開会に先立ち、掛川市人事・総務部長より御挨拶申し上げます。

事 務 局 : こんばんは。本日はお忙しい中、またお仕事でお疲れのところ  
(人事・総務部長) お集まりいただき誠にありがとうございます。どうぞよろしく  
お願いいたします。

原田地区の皆様には、日頃から行政にご支援ご協力賜りまして、誠にありがとうございます。原田小学校は長年にわたり地域の教育の場として多くの子どもたちを育んできました。その歴史と地域の皆様の思いを大切にしながら、この跡地を新たなかたちで地域に貢献できるように生まれ変わらせることができるような検討をすることがこの委員会の目的だと考えています。地域の特性やニーズを十分に踏まえた利活用の方向性について議論を深めたいと考えておりますので、多様な視点やアイデアをお寄せいただきながら、地域の未来を見据えた最善の活用策を見出していただければと思っています。また、市内各地において跡地活用が進みますが、そのなかでも初めに検討をします。他地区のモデルになるというところですので、その辺も踏まえて事務局を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事 務 局 : ありがとうございました。  
続きまして、本委員会にオブザーバーとして御参加いただいている方から御挨拶いただきたく存じます。お願いいたします。

オブザーバー : こんばんは。今年の3月をもって原田小学校が閉校となり、子どもたちは原谷小学校に通ってくれています。この場所、この校舎含めてどのような活用方法がこの原田地区にとって一番いいのかを見つけるために皆さんにご検討いただきたく思いま

す。いろいろな意見がでると思いますが、地域のためになるような結論を導いていければと思いますので、ご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

### 3. 委員自己紹介

事務局：次に次第の3、委員自己紹介に移ります。  
配布いたしました委員名簿の順に一言ずつ、所属とお名前程度で自己紹介をお願いいたします。

委員：一委員自己紹介一

事務局：委員の皆様、ありがとうございました。  
続きまして、事務局を紹介させていただきます。  
一事務局自己紹介一  
以上、事務局の紹介となります。よろしく願いいたします。

### 4. 委員長・副委員長の選任

事務局：続きまして、委員長・副委員長の選出に移ります。  
お手元の資料1をご覧ください。原田小学校跡地利活用検討委員会設置要綱第4条第2項の規程により、委員長は委員の互選により定めるとしておりますが、いかがいたしましょうか。

委員：事務局一任

事務局：只今、事務局一任との声がありましたが、委員長を事務局で選出してよろしいでしょうか。

委員：異議なし

事務局：それでは委員長を、(A委員)様をお願いいたします。  
また、副委員長は規程第4条第2項の規程により、委員長が指名することとなっております。副委員長の指名を、委員長よりお願いいたします。

委員長：副委員長には、(B委員)様を指名させていただきます。

事務局：それでは副委員長は(B委員)をお願いしたいと思います。  
よろしく願いいたします。  
ではここで、委員長から一言ご挨拶いただきたいと思います。  
委員長、お願いいたします。

委員長：改めまして今回委員長として選任されました。皆さんとともに新しい原田地区のためにも協力し合って進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

## 5. 説明

事務局： それでは、次第の5に移りたいと思います。  
(1)から(4)につきまして、一括して事務局より説明を行います。

事務局： 一資料3～5を用いて説明—

## 6. 質疑応答・意見交換

事務局： 事務局より、原田小学校跡地の現状や跡地利活用に関する市の方針並びに今後の進め方、廃校の活用事例について説明いたしました。ここからは、質疑応答・意見交換に移りたいと思います。  
ここからの進行は、委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしくお願いたします。

委員長： 市から、跡地利活用について説明いただきました。これからは委員の皆さんから学校跡地について思っていることを発表していただきたいと思います。市の方にも、地元がどう考えているかを頭の中に入れてもらい、今後の検討にも活かしてもらいたいです。初回なので、突っ込んだ意見とまではいなくても、自分なりの考えを発表してもらえればと思います。  
また、市の方で回答がもらえるようなことがあれば、そちらもお願いしたいと思います。

C 委員： 意見がまとまっていませんが、地域住民のなかでもいろいろな意見があるなかで、これからはある程度絞っていく、どういう、誰を対象とするのか、例えば年配の方を対象とするのかなど、対象者がある程度絞ってもいいように感じています。

D 委員： スポーツ関係で参加している身としては、グラウンドがいつまで使えるのかというのが焦点だと感じています。  
跡地を有効的に使うということは理解しているのですが、原泉の事例をみると、地域で運営するというのは高齢化が進行して年配者ばかりになるなかだとなかなか活動を広げられず、継続していくことも大変になっていくものだと思います。地元で引き受けると言うてしまうのは、長い目で見たら難しい。若者が良い案を出してくれたら協力することならできると思います。  
グラウンドについて、現在は平日と土日の昼間は使用していいと許可をもらっていますが、ナイターが使えないため夜間の使用ができず、練習の都合をつけることが難しくなっています。仕事の都合などもある中で昼間にはなかなかグラウンドを使えないため、あまり整備もできていない状況で、たまに使うと草取りが大変というような状況になっていることもあります。チームでもグラウンドをなんとかしたいと考えていますが、うち

のチームだけではなかなか対応が難しいので、いろいろな知恵を借りられたらと思っています。

E 委 員 : 原田小学校の跡地利活用の委員にならないかという回覧が回っていましたが、その時点よりも前から原田小学校が廃校になった後のことを想像はしていました。しかし、いざ小学校がなくなると、資料にあるように「地域の衰退懸念」や「人口減少の加速」等、過疎化が止められなくなっています。

市の方にお聞きしたいのですが、この委員会で決まったことをどの程度までバックアップしてくれるのでしょうか？今まで市の持ち物だったものですが、手放すとなると費用がかけられないということでしょうか？地域として「お金をかけてほしい」といった場合に、市としてはかけられないので、事業者任せましょう、ということになるのでしょうか？

事 務 局 : その点については、これから皆さんと一緒に決めていきましょうということになります。

公共施設再配置計画では、公共建築物の延床面積縮減目標が25%となっていますが、そもそも維持していく財力がないところが発端になっています。廃校になり、学校としての利用がないとなりますと、設備投資や修繕に費用がかけられないという状況になってきます。この委員会の話し合い次第にもなりますが、民間事業者を買ってもらう、借りてもらう、もしくは、地域で組織を立ち上げて運営していくなど方向性を検討していくことになります。

市としては新しいものをつくったり現在の建物を改修したりするということではできないため、何か別の方法を地域の皆さんと検討したいと考えており、その検討に対してできる限りのバックアップをしていきたいと考えております。

E 委 員 : 話し合いを経て、ゴールを徐々に作り上げていくというように理解しました。

私の考え方としては、民間事業者を買ってもらえるのが理想的だと思います。あと15年したら自分は引退し、20年したら立ち行かなくなる。ここを負の財産にはいけないので、平行線、もしくは右肩上がりにできるようにはもっていきたくて考えていて、そのためにも地域としての意見を言わせてもらいたいです。右肩上がりしていく見通しがあるならば協力したいと思いますが、それが難しいというならば残念だなと思います。

F 委 員 : もし、民間事業者が解体したいとの希望がある場合は市はどう対応しますか？

事務局：今すぐにはできるとは回答できないですが、その条件でなら買い取ったり借りたりしたいということでしたら、検討するようになるかと思います。

幼稚園の事例ですが、解体費を土地の値段から引いて売却したということもあります。このような選択肢についても、地域の皆様のご意見とマッチするなら、あり得るものだと考えております。

G 委員：10年ぶりに地元に出戻ってきました。農家をやっているトラクターで地域をよく回っています。朝は車が南方面に向かってよく通りますが、午前10時くらいになるとすごく静かです。自分しかいないのではないだろうかと思うほど静かで、たまに教習所の車が通るくらいです。夕方くらい、暗くなると車が戻ってくるのですが、日中に人がいないなと強く感じています。働く場所がないのだと思います。農業のエリアではあるかと思いますが、それ以外の産業がなく、住む場所ではあっても働く場所がないなと思います。

地元の同級生も、高校卒業後に大学へ行ったきり、この地域には戻ってこない。地元がいいところだとは言っているものの、職を求めて県外に出ていってしまっています。この地域に「ふるさと」として推せるポテンシャルがないから帰ってこないのだと思います。そういうなかで、近年では静岡県がお茶で九州に負けているなど、一次産業が衰退してしまっている現状に悔しさを感じています。

もちろん、福祉施設というかたちで活用することもあり得るとは思いますが、やはり産業の基礎をつくって、むしろ財政負担だといわれられないような、お金が落ちるような施設として活用できたらいいと考えています。そうすれば若者も残ってくれて、地域の活性化にもつながっていくと考えています。

H 委員：子育てをしている親としての目線になりますが、とにかく子どもの遊び場がないと感じています。出掛けるにしても、公園は遠く、子どもが遊ぶ場所はないです。この委員会の募集を見たときに、子どものための施設がほしいと思って応募しました。

とはいえ、現在は子どもが少ないという状況です。しかし、だからといって高齢者だけに焦点を当てるのも違うのかなと感じます。複合施設等でもいいかもしれません。ならこのキャンプ場の利用者は、地元の店舗で買い物されていく方が多いらしいです。この小学校も、地元の食材の市場、道の駅のような施設を作れたら地元の方の働き口にもなるし、そういう施設もいいのかなという気もします。地域の意向に沿った施設になれば

いいと思います。

I 委員：意見が少し違う方向かもしれませんが、広域防災の話し合いの時に、避難所としての備品が十分ではないという話がありました。廃校後に備品が回収されてしまっていて、現時点では避難所としての運営が難しい状況にあります。新しい施設をつくる前に最低限のものを揃えてもらわないと、避難所として運営する時にゼロからスタートさせるには難しく感じています。避難時用のトイレや保健室の備品も回収されてしまっているようなので、ある程度備品を揃えて、避難所としての機能を維持してほしいと考えています。

また、所属している団体の活動として、小学校の畑でさつまいもを作って、子どもたちと料理をしていました。調理室にもある程度備品を揃えてもらい、いざとなったときにも利用できるというと思います。説明があった事例のような大きなことは難しいと思います。最低限の備品を置いて、小さいことから活動していけるように、またいざとなったときにも利用できるような施設になるといいと感じています。

J 委員：地元がどう使いたいかとなると、皆さんこの小学校に通っていたでしょうし、いろいろな思いがあると思います。しかし市の再配置計画があるなかですので、市としてもある程度の方向性を示してほしいと思います。例えば投資が可能かなど、そういったことを資産経営課だけではなくて、市としてこれから必要だと考えている施設はないのかを含めていろいろな課と協力しながら、引っ張って行ってほしい。

こうして検討をしても、蓋を開けたらどこの民間事業者も参入してくれないという可能性もあるかもしれません。市が方針検討についてバックアップするということですが、現実的な方向性が示されないと、地元からもアイデアが出せないと思います。市内では他の地区でも学校再編が始まるので、原田小学校はモデル的な位置づけになれると思います。市の方向性が示されると、よりよい方向に向かえると考えています。

個人的なところでいうと、サッカー場として利用したいという意見があると聞いています。子どもがサッカーをしていますし、この地域に週末だけでも人が集まってくれれば、原田地区の良さも分かってもらえます。実際できるかはわかりませんが、グラウンドだけでなく事務所などとして校舎も使ってもらえるとより人が来てくれるのかなと思います。

K 委員：自宅で予め資料を読んで考えてみましたが、活用可能かどうかはなかなか分からないと思います。支援事業者もいますし、民間事業者に入ってもらって、避難所やスポーツ施設等、皆さ

んが言っていた条件で活用可能な民間事業者を探せば一番いいと感じました。

L 委 員 員 : 思うところはたくさんありますが、まずは今日初めて会合を開いてもらって感謝したいと思います。一番恐れていることは、使い道がなくて管理されず、荒れてしまうことです。閉校からここまでの間、市や市教育委員会が今後の使い道をどう考えているのかが分からず、考えているのかどうかも地域になかなか落ちてこないという状況で閉校を迎えてしまっています。これからも閉校する学校が増えていくなかで、市がどのように考えているのかは気になっています。解体するというのも名言されていないので、廃墟になる、立ち入り禁止になっていてもフェンスがボロボロになり勝手に人が立ち入ることができてしまうような状態になってしまうなど、そういったことにはなっほしくないなと思います。

市がどれほど支援してくれるのかは気になりますが、他の地域でも閉校が発生してくると、原田小学校ばかりを支援するわけにもいかないと思いますので、なかなか難しい。市として、「このような使い方であれば協力できる」といった案をいただいて、原田地区の意見とすり合わせながら方向性を検討できるのが一番いいと考えています。

新東名高速道路を通っていると、原田小学校の校舎がきれいに見えます。活かすのか潰すのかも検討の余地があるものですが、どちらにせよ原田地区のシンボルになると思います。どうなっほしいかでいうと、できれば他の地域から人を集めて、住んでほしいとまでは言いませんが、週末や夏休みだけでもこの地域がにぎやかになるといいなと思います。学校を起点として、自然を活かした教育など、学校教育だけでは教えきれていないことを教えてもらえる場所にするのもいいかもしれません。

M 委 員 員 : 学校再編の会合にも関わっていますが、足踏みしているような状況です。市の説明では、3年ほどで跡地利活用をまとめたいたの話がありましたが、かなりタイトだなと感じます。みんなで協力して何かしらを導かなければならない。とにかく、原田地区はまとまって話ができる地区だと思うので、成功させたいと思います。

委 員 員 長 : これまで皆さんにご発言いただきましたが、現在私のところにもいろいろな意見が集まっています。原田フェスのときに埋蔵文化財を見学するという予定ですが、学校がなくなるならそこで埋蔵文化財を展示してほしいとの意見もでています。グラウンドの草刈りについてもご意見いただきましたが、フェスの関

係もあり、10月ごろには業者に委託して進めたいと考えています。学校には図書があり、エアコンがある部屋もあります。勉強部屋としても使えそうだと思いますし、お願いすれば借りられる可能性もあるので、意向があればためらわずに教えてほしいと思います。

## 7. その他

事務局： 限りある時間のなかでしたが、特に、市からの提案、どう考えているかについては共有したうえで進めたいという点については確認させていただきました。

市役所の内部的な話をすると、どこの課からも活用したいという声は上がっていない状況です。民間事業者が本当に請け負ってくれるのかというご意見もありましたので、サウンディング等も進めてもいいのかなというようには思っています。今後の進め方については再検討した上で次回に臨みたいと思います。最後に、少し事務局から確認事項についてご説明させていただきます。

事務局： 一資料3の17・18ページにより説明—

委員長： 11月17日（月）の週に第2回を開催し、それが終わったあたりで近隣事例を視察したいと思います。また、マスコミからも関心を寄せてもらっているようなので、跡地利活用の検討をしていることを情報発信することで活用を検討してくれる事業者などに情報が届くよう、マスコミが来てもいいような体制を取りたいと思いますので、ご承知置きください。また、本委員会については、同様の考えで市ホームページにも掲載してもらいたいと思いますので、よろしく願いいたします。

D 委員： 第2回委員会までに、地元だけで意見交換をする機会を設けてもいいかなと思います。若い世代だけで話してもらったり、年長者で話してもらったりと。11月になっていきなり第2回の話し合いをしても、なかなか話が前に進まないと思います。3年間で検討するのも難しいような話なので、そのように地元で意見交換をしてはどうでしょうか。

E 委員： 今日のように、大人数で話すと歯に衣を着せて、言いたいことがあまり言えなかったのが、少人数でも意見交換会を開催してほしいです。

委員長： 少人数でもいいから、ワークショップを開催することも検討したいと思います。

F 委員： そこでまとまった地元の意見を、第2回で市にぶつけるような感じにしたらどうかと思います。

委員 長 : 隣同士や少人数でも話をしながら、第2回目を目指していきたいと思います。

事務局 : 以上をもちまして、本日の検討委員会を閉会します。長時間に渡り、ありがとうございました。